

事業者温室効果ガス削減報告書概要(第一計画期間) 第2年度分

1 事業所の概要

事業者の名称	麒麟麦酒株式会社 仙台工場		
事業所の名称	麒麟麦酒株式会社 仙台工場		
事業所の所在地	宮城県仙台市宮城野区港2-2-1		
主たる事業	飲料・たばこ・飼料製造業		
事業者の該当要件	<input type="radio"/>	条例第2条第5号イに該当する特定事業者	
	<input type="radio"/>	条例第2条第5号ロに該当する特定事業者	
	<input type="radio"/>	条例第2条第5号ハに該当する特定事業者	
	<input type="radio"/>	条例第15条第1項に該当する一般事業者	
温室効果ガス排出抑制のための基本方針	キリングループのSBT達成に向けた施策の推進し、キリングループ全体で、2030年で2015年比-30%のGHG排出量削減に努める。 【方針】 ・再生可能エネルギーの導入。 ・省エネルギーによる原単位対前年 1%削減		

2 温室効果ガスの排出状況等

温室効果ガスの削減目標	基準年度	2019 年度	基準排出量	14,309 t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	101.5
	目標年度	2022 年度	目標排出量	12,651 t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	89.7237063
温室効果ガスの排出状況			削減率	11.58 %	削減率	11.60 %
	第1年度	2020 年度	排出量	14,326 t-CO <sub>2</sub>	排出原単位	105.3
			削減率	-0.12 %	削減率	-3.75 %
	排出量等の増減理由	2021年1月～2月の寒波により排水処理工程にて蒸気使用量増加のため、都市ガス使用量が増加し温室効果ガスの排出量増加である。				
	第2年度	2021 年度	排出量	14,973 t-CO <sub>2</sub>	排出原単位	110.9
			削減率	-4.65 %	削減率	-9.27 %
	排出量等の増減理由	排出増加の理由:製造ライン増設工事(139t-CO <sub>2</sub> )、熱回収設備故障(124t-CO <sub>2</sub> )、太陽光発電設備稼働制限(442t-CO <sub>2</sub> )、エネルギー起源CO <sub>2</sub> 以外の増加(514t-CO <sub>2</sub> メタン起源が主でコージェネ不調により未回収が発生)				
第3年度	2022 年度	排出量	t-CO <sub>2</sub>	排出原単位		
		削減率	%	削減率	%	
排出量等の増減理由						

3 温室効果ガスの排出抑制に関する取組

基本対策の実施状況	基準年度	79 %	目標年度	82 %
	第1年度	79 %	実施状況の説明等	計画から変更なし
	第2年度	82 %	実施状況の説明等	計画から変更なし
	第3年度	%	実施状況の説明等	

選 択 対 策 の 実 施 状 況	項目		実施状況
	再生可能エネルギーの導入		実施済
	生産性管理		実施済
	エネルギー使用量の見える化(前年度比較)		実施済
	蒸気トラップの管理		実施済
	デマンド管理		実施済
そ の 他 の 対 策 の 実 施 状 況	項目	具体的な取組内容	実施状況
	環境マネジメントシステムの導入	1999年1月ISO14001認証取得	実施済
	SBTやRE100等の国際的な気候変動イニシアティブなど脱炭素経営への取組	【会社全体】 ・2017年3月 国内外のキリングroup温室効果ガス(以下、GHG)中期削減目標がSBTより承認 ・2020年11月 キリンホールディングス RE100へ加盟	実施済
	従業員の自動車利用の抑制、公共交通機関の利用促進	2020年コロナ禍以降在宅勤務の推進	実施済
	廃棄物削減対策の実施	1998年1月より廃棄物再資源化率100%継続	実施済
	森林の保全・緑化の推進	2001年より水源の森活動(川崎町)実施、2013年より三陸沿岸松林植樹活動実施	実施済
	グリーン調達の実施	1999年キリンビール「グリーン調達基本方針」制定後継続	実施済
	計画期間以前の温室効果ガスの大幅な削減	・2006年ボイラー燃料転換:重油から天然ガスへ転換 ・2006年バイオガスエンジン導入:嫌気排水処理設備から発生するバイオガス(主成分:メタン)を主燃料として使用	実施済
市が実施する環境関連事業への参画	2016~2017年 温室効果ガス削減アクションプログラム モデル事業	実施済	